

	コード	名	称	区分	コード	名	称
事業名	1121	治山林道維持経費		会計	01	一般会計	
				款	06	農林業費	
				項	02	林業費	
基本 施策	42	持続的で个性的な農林業を実践する		目	02	林業振興費	
				細目	324	治山林道維持経費	
行革大綱の重点事項番号				細々目	01	治山林道維持経費	
担当部課	コード	750100		担当者 氏 名	中山 良憲	連絡先	52 - 1114 (内線)
	名 称	青山振興課					

事務事業の概要 (Plan)

対象(誰を、何を)		林業施設、森林所有者(受益者)		※対象件数
成果(どうする)		森林施設の整備を進めたり、適正な維持管理を行うことで、林業作業が省力化等につながります。		
根拠法令・要綱等				
開始年度	平成	年度	関連事業	
終了年度	平成	年度		
H21 事業 内容	①治山林道関係事務			
	②広域林道(摺見妙楽地線、出合岩の尻線)の除草、雪氷対策 摺見妙楽地線L=2, 414m、出合岩の尻線L=1, 982m			
	③民有林道整備の原材料費の補助(7箇所)			
	④簡易林道開設事業への補助(3路線)			
	⑤林道維持管理モデル事業(3箇所)			
	⑤治山事業(県単・国補)の要望の取りまとめ			
社会情勢 の変化等	市の構造改革により支所では、H22年度より簡易林道開設事業への補助のみとなった。その他の事業補助及び除草雪氷等維持管理は、農村整備課に移行した。			

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	民間委託等
委託先	三和工務店、津元土木、シルバー人材センタ
2 配置人員	3 人
3 年間運営費	563 千円
4 市内の 類似施設	市内広域林道

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動 指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20		H21	
			目標	実績	目標	実績
	摺見妙楽地線、出合岩の尻線の除草	回	2	2	2	2
			実績	2	実績	2
	林道維持管理モデル事業箇所	箇所	4	4	4	4
			実績	3	実績	3

成果 指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20		H21	
				目標	実績	目標	実績
	簡易林道新規開設延長	延長が伸びる事で、運搬車の通行ができるなど林内作業が容易になる。	m	1,000	800	1,000	600
				実績	600	実績	600
				目標		目標	
				実績		実績	

		H20 決算	H21 決算	H22 当初予算	H23 当初要求
直接事業費計 (A)		(千円) 5,788	(千円) 4,271	(千円) 822	(千円) 822
投入コスト	Aの財源内訳				
	国庫支出金				
	県支出金				
	地方債				
	その他				
一般財源		5,788	4,271	822	822
事業投入人件費 (B)		0.3人 2,160	0.3人 2,160	0.1人 720	0.1人 720
フルコスト(A)+(B)		7,948	6,431	1,542	1,542

事務事業の評価 (Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)			備考欄(特記事項)	
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業		○	
	個人の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業			
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第3者にも利益が及ぶ事業			
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業			
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業			
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業			
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業			
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業			
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業			
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業			
有効性	事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業		【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】	
	【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】			
達成度	財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業		【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】	
	【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】			
効率性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。		○	
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高サービス水準や対象を見直す余地がある。			
達成度	当初設定した計画を	100%	実施している。【計画に遅れが生じている場合、改善策】	
	予算の繰越の有無	無		
効率性	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】			
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。			
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。			
	【事業名】			
	受益者負担を求めることができる事業である。			
達成度	全体コストにおける負担構成は適正である。			
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。			

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	
昨年度 の取組状況	【状況】 計画のとおり進んでいる 【詳細】 広域林道の除草、雪氷対策等の維持管理及び林道整備等に対する補助を行った。

今後の方向性 (Action)

担当課長氏名	藤原 四郎
事業の方向性	【方向性】 手法改善
	【理由】
	支所に担当職員が少ないため業務を本庁業務に移行
現時点における 課題、その他	平成22年度は、簡易林道開設事業への補助事業を窓口となっているがその他の補助関係と草刈・雪氷対策の維持については本庁業務となった。業務の窓口を1箇所にとりまとめ住民サービスの向上を図る。
課題、その他に 対する改善策 (いつまでに、何を、どうする)	支所業務を本庁業務に移行。